

# FURUTECH

## Review

Audio Accessory

2009 AUTUMN 134 - Japan



### 高域方向の抜けが劇的に向上する

炭山アキラ Akira Sumiyama

高域バランスや音色などを大きく変えずに表現の幅を大きく広げるのが素晴らしい



●SPEC ●導体：α導体(α-OCC素材) ●絶縁材：樹脂加工ポリプロピレン ●外観：ナイロン糸編み組 ●取り扱い：フルテック

ジャンパーケーブル Jump Cable

FURUTECH

### Speaker flux-Jump wires

¥39,900(税別)

(Yラグorバナ/20cm X4)

OCC素材にマイナスイオン処理の極低温処理と特殊電磁界処理を施したα導体を採用したパイワイヤ・ジャンパーケーブル。被覆は銅張りエポキシ樹脂で、その上からナイロンの網スリーブがかけられている。極太で使い易い。音が意外としなやかでつなぎやすい。先端はYラグとバナナから選択可能。レコーダーもロジウムメッキである。クラシックは高域方向の抜けが劇的に向上。また、高域方向の抜けに用いたにもかかわらず、大太鼓のスピード感までアップするのが面白い。音場は明るくクリアにとこまで伸びていく感じだ。ジャズは全体に音離れが良く、大迫力のドラムやベースに埋もれることなく、金属打楽器などが生き生きと再現されるのが良い。ポップスは冒頭のベースが眼前に迫り、声はベールが何枚もはがれて、聴く者の心をわしづかみにするような迫真の再現が味わえた。